

財務省第10入札等監視委員会  
平成29年度第1回定例会議議事概要

|                          |  |  |
|--------------------------|--|--|
| 開催日及び場所                  | 平成29年10月16日(月) 広島合同庁舎1号館会議室  |  |
| 委員                       | 委員 二村 博司 (広島大学大学院社会科学研究科 教授)<br>委員 山田 希恵 (山田総合会計事務所 公認会計士)<br>委員 内田 喜久 (内田法律事務所 弁護士) |  |
| 審議対象期間                   | 平成29年4月1日(土) ~ 平成29年6月30日(金)   |  |
| 契約の概要説明                  | 審議対象期間における契約案件の概要  |  |
| 抽出事案                     | 4件   | (備考)   |
| 競争入札(物品役務等)              | 1件   | 契約件名 : 未利用国有地の管理等業務委託<br>契約相手方 : ミヤオ産業有限会社<br>(法人番号 9240002018578)<br>契約金額 : 139,762,595円<br>契約締結日 : 平成29年4月3日<br>担当部局 : 中国財務局                         |
| 競争入札(物品役務等)              | 1件   | 契約件名 : 広島合同庁舎入退館管理システムコントロール等更改<br>契約相手方 : エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社<br>(法人番号 7010001064648)<br>契約金額 : 33,480,000円<br>契約締結日 : 平成29年5月22日<br>担当部局 : 中国財務局 |
| 競争入札(公共工事)               | 1件   | 契約件名 : 倉敷税務署トイレ改修工事<br>契約相手方 : 株式会社西日本工業<br>(法人番号 2260001005111)<br>契約金額 : 27,864,000円<br>契約締結日 : 平成29年5月22日<br>担当部局 : 広島国税局                           |
| 競争入札(物品役務等)              | 1件   | 契約件名 : 諸申請手続等サポートシステムの開発業務<br>契約相手方 : 株式会社シンクロソフト<br>(法人番号 4240001027733)<br>契約金額 : 4,510,080円<br>契約締結日 : 平成29年4月3日<br>担当部局 : 広島国税局                    |
| 委員からの意見・質問、<br>それに対する回答等 | 下記のとおり   |  |
| 委員会による意見の具申<br>又は勧告の内容   | なし   |  |

| 意見・質問   | 回答   |
|---|--|
| <p><b>【抽出事案の説明及び審議】</b></p> <p><b>1 未利用国有地の管理等業務委託</b></p> <p>本件における提案書の評価と入札価格の割合如何。</p> <p>総合評価方式を採用する契約の基準如何。</p> <p>平成26年の前回入札と同じ2者による入札となっているが、中国5県という業務範囲が広すぎて他者が参入し難い状況であれば、範囲を分割してもよいのではないか。</p> <p><b>2 広島合同庁舎入退館管理システムコントローラ等更改</b></p> <p>職員の情報を管理するような複雑なシステムであるために設置事業者以外の応札が困難であるなら、防犯に特化したもっと簡易で汎用性のあるシステムの導入を検討する余地はないか。</p> <p>本件調達において、入札参加資格等級の拡大をしなかった理由如何。</p> <p><b>3 倉敷税務署トイレ改修工事</b></p> <p>契約金額が高額となった理由は何か。</p> | <p>本件は、提案書及び入札価格それぞれの評価点を合計するのではなく、提案書の評価点を入札価格で除した総合評価点が高い者を落札者と決定している。</p> <p>契約内容の特殊性に鑑みて個別に決定されているもので、基準といったものはない。</p> <p>より参加の機会を拡大するという観点で、対象範囲を県ごとに分割して契約することについては、委託財産の件数等の業務量を精査して判断する必要がある。</p> <p>全国の庁舎で同一のIC身分証による職員の入退館を可能とするため、職員データを共有させる必要があり、システム導入時から全国共通の仕様となっている。</p> <p>本件については、市場に流通していない特殊な設備に係る調達であったこと、更に、業務の履行が技術的に可能な事業者が該当等級に一定数存在することが確認できていたことから、等級拡大の必要がないと判断したものである。</p> <p>トイレ改修を行う場合、まず既存設備の撤去工事を行い、次に排水管等の交換、それに伴う床及び天井の建築工事を行った後、新規設備の設置工事を行うといった複数の工事が必要となる。</p> <p>今回の工事では、既設トイレ内の便器等設備を更新するのみでなく、既設トイレの限られたスペースの中で、狭隘な各個室を拡張するための全面改修を行ったことから、トイレ内全ての既存設備の撤去をはじめ、複数の付随する工事を行っている。</p> <p>また、以上の工事に併せて、配管の通っていない庁舎外にもトイレを新設したことから、契約金額が高額となっている。</p> |

| 意見・質問   | 回答  |
|---|---|
| <p data-bbox="188 277 759 309"><b>4 諸申請手続等サポートシステムの開発業務</b></p> <p data-bbox="236 344 628 376">契約業務内容について知りたい。</p> <p data-bbox="210 663 778 752">新規のシステム開発業務であり、契約金額が安価であると思われるが、この契約金額で業務履行できるのか。</p> | <p data-bbox="836 344 1404 465">当該システムは、職員が職場に提出する各種申請書を作成する補助を行い、職場において職員の基本情報を活用して各種名簿を作成するシステムである。</p> <p data-bbox="836 465 1404 586">当該システムは平成29年1月のサーバリプレースに対応できないため使用を停止していたが、平成29年度に機能を追加して新規開発したものである。</p> <p data-bbox="836 663 1404 752">契約業者は、過去にも当局のシステム関係の案件を行った実績があり、金額面で安価であったが履行状況も問題なく行っていた。</p> <p data-bbox="836 752 1404 904">契約金額が安価となった理由としては、業務に直接代表者が携わり、人件費等のコスト削減が可能であったことと受注実績を獲得することを目的とした大幅な値引きが行われたことと判断している。</p> <p data-bbox="836 904 1404 994">今回の業務では進捗状況に問題はあったが、最終的には契約通りのシステムを納入している。</p> |